

取組の経過

取組年表

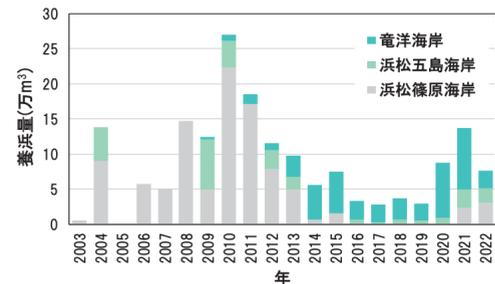
年度	侵食対策等の取組	海岸侵食に伴う主な災害等
2003(H15)年	遠州灘沿岸海岸保全基本計画策定 (H15.7) 浜松篠原海岸 養浜実施 (H15～) 浅羽海岸 養浜実施 (S56～)	・御前崎海岸の侵食進行・護岸崩壊 (2001年8月) ・新居海岸の侵食進行・パイパスの土台露出 (2002年8月) ・浜松篠原海岸の侵食進行・埋立ゴミ流出 (2003年10月)
2004(H16)年	遠州灘沿岸侵食対策検討委員会設立 (H16.6) 浜松五島海岸 養浜実施 (H16～) 新居海岸 養浜実施 (H16～H20)	
2005(H17)年	委員会において「遠州灘沿岸侵食対策についての緊急提言」を発表 (H17.12)	・浜松五島海岸の突堤、離岸堤等が被災 (2005年台風9号、11号)
2006(H18)年	天竜川ダム再編事業環境検討委員会設立 (H18.7) 相良海岸 養浜実施 (H18～)	
2007(H19)年	浜松篠原海岸 離岸堤整備開始 (H19～H23) 御前崎海岸 養浜実施 (H19～) 竜洋海岸～御前崎海岸を委員会の検討範囲に加える	・浅羽海岸の侵食進行・自転車道の崩壊 (2007年7月)
2008(H20)年	竜洋海岸 離岸堤改良開始 (H20～)	
2009(H21)年	竜洋海岸 養浜実施 (H21～)	
2012(H24)年	相良海岸を委員会の検討範囲に加える	・竜洋海岸の侵食進行・保安林の消失 (2011年台風15号)
2014(H26)年	福田漁港サンドバイパスシステム試験運転開始 (H26.2)	
2015(H27)年	浜松五島海岸 突堤整備開始 (H27～)	
2018(H30)年	天竜川流砂系総合土砂管理計画(第一版)策定 (H30.3)	
2019(R1)年	大浜海岸 養浜実施 (R1～)	・竜洋海岸の侵食進行・保安林の消失 (2019年台風19号)



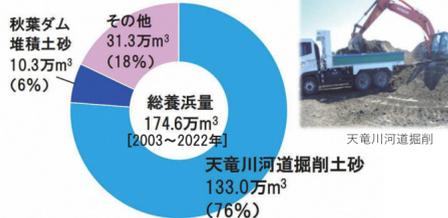
養浜の実施状況

浜松篠原海岸・浜松五島海岸・竜洋海岸では、国と県が連携した取組である天竜川河道掘削土砂を活用した養浜を主とし、その他、秋葉ダム堆積土砂などを活用した養浜を実施しています。

海岸別の養浜量



総養浜量に占める天竜川河道掘削土砂の割合



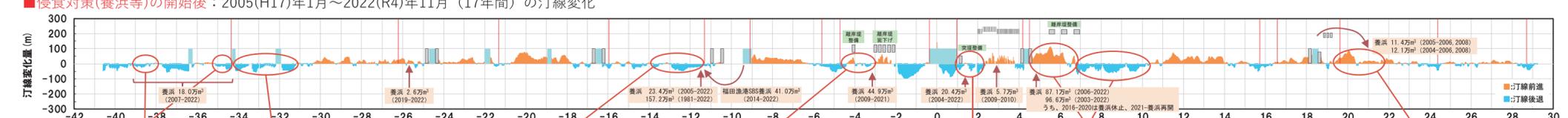
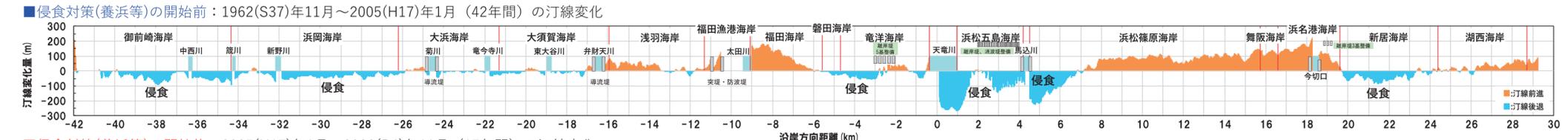
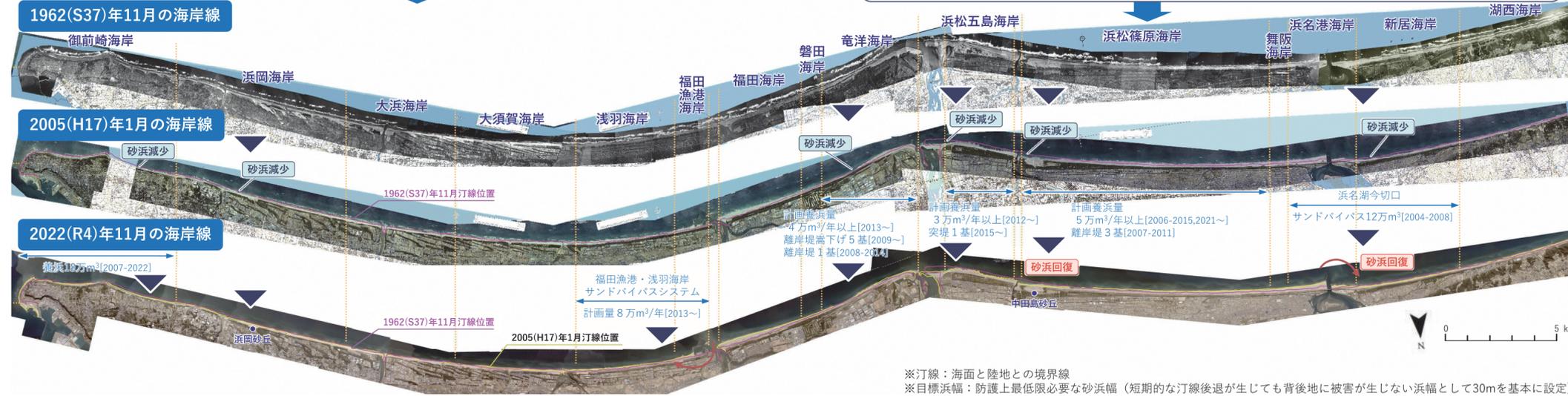
遠州灘沿岸の侵食と対策の実施状況

▶ 天竜川河口より東側（竜洋海岸～御前崎海岸）

- ・竜洋海岸や浅羽海岸では養浜やサンドバイパスシステムによる沿岸漂砂の連続性確保を旨とした侵食対策を実施し、浜幅の維持・回復を図っています。
- ・その他、御前崎海岸など、各所で応急的な養浜による対策を実施しています。

▶ 天竜川河口より西側（浜松五島海岸～湖西海岸）

- ・浜松篠原海岸では養浜等により汀線が大きく前進し、目標浜幅を確保しています。
- ・新居海岸では養浜等により汀線が維持・回復しています。
- ・浜松五島海岸では養浜等の継続的实施により汀線を維持しています。
- ・一方で、侵食が進行している箇所もあり、養浜の継続が必要です。



御前崎海岸
侵食が進んでいるため、養浜を実施中です。

浜岡海岸
侵食が進んでいるため、モニタリングにより対策の必要性を検証しています。

浅羽海岸 (サンドバイパスシステム整備)
侵食が進んでいるため、サンドバイパスシステムにより沿岸漂砂を供給しています。

竜洋海岸
対策の実施により汀線は維持されているものの、依然、浜幅は狭いため、養浜を実施中です。

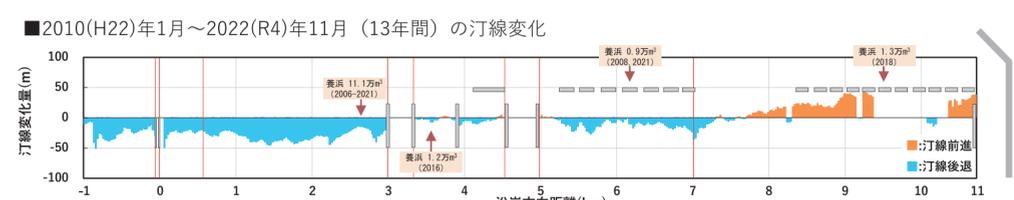
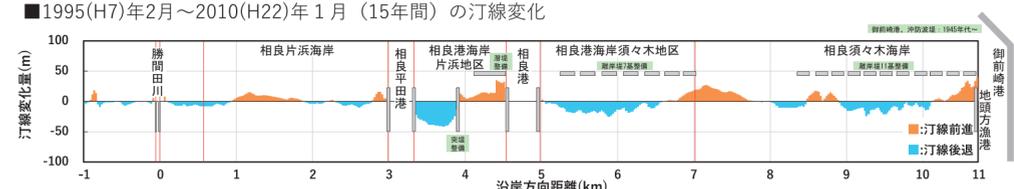
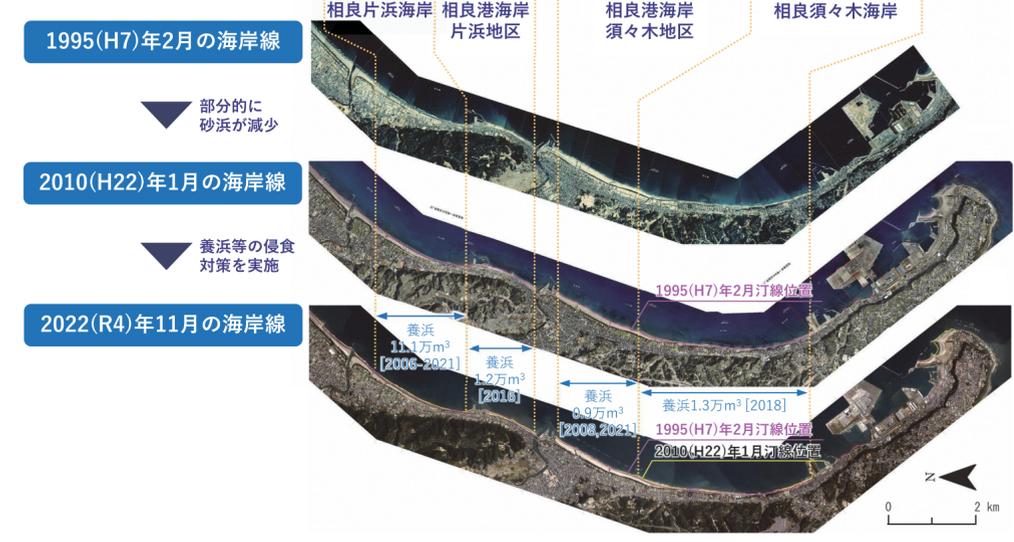
浜松五島海岸
対策の実施により汀線は維持されているものの、依然、浜幅は狭いため、養浜を実施中です。

浜松篠原海岸
対策の実施により馬込川～離岸堤背後の汀線が前進し、全域で目標浜幅を確保しています。一方、離岸堤西側は侵食が進んでいるため、養浜を実施中です。

新居海岸
過去の養浜と東側からの沿岸漂砂により、汀線はやや前進傾向にあります。

相良海岸の侵食と対策の実施状況

- ・遠州灘からの漂砂の影響を受ける相良海岸（相良須々木海岸、相良港海岸、相良片浜海岸）は、供給される土砂の減少により侵食が生じたため、御前崎港・相良港等の浚渫土砂を活用した養浜により、侵食の進行を防止する取組を行っています。しかし、2010(H22)年頃から高波浪の来襲頻度の増加に伴いさらに侵食が進行し、相良須々木海岸の南側と相良片浜海岸の南側では砂浜が消失した状態が継続しています。そのため、より多くの養浜材の確保に向けて関係機関の連携を強化するとともに、最適な侵食対策について検討する必要があります。



相良片浜海岸
サーフィン利用の盛んな海岸ですが、全域で侵食が進んでいるため、相良平田港等からの浚渫土砂による養浜を実施中です。

相良港海岸 片浜地区
対策前は潜堤背後で侵食が進んでいるため、モニタリングにより対策の必要性について検証していきます。

相良港海岸 須々木地区
離岸堤背後で侵食が進んでいるため、モニタリングにより対策の必要性について検証していきます。

相良須々木海岸
離岸堤背後の一部で汀線が回復するも、砂浜消失箇所もあり、御前崎港からの浚渫土砂による海中養浜を実施中です。